



村井 慶太郎 議員



すくすくと大きく元気に育ってね!

本町の舵取り役としての方向性は

白石町政のクリーンな精神を受け継ぐ

問

本町では合併60周年を迎え、えひめ国体も控えている。また、第四次総合計画の継続、県議不在などさまざまな問題が山積しているが新町長の舵取り役としての方向性を問う。

町長

白石町政のクリーンな精神をしっかりと受け継ぎ、若い母親世代に住んでみたい、選んでもらえるような松前町にしていきたい。とりわけ人口減少対策に力をいれ、子育て支援の拡充や快適で文化的で

おしゃれなまちづくりに特に力を入れていきたい。また、まちづくりに当たっては、町民の声にしっかりと耳を傾け、住民目線で町民の皆様が納得していただける町政を進めていき、女性の能力の活用も図っていきたい。

義務教育終了までの医療費無料化は

平成29年1月の実施を目指す

問

少子化が進む中、安心して子どもを産み育てることができる町とスローガンを掲げている新町長である。義務教育終了時まで子どもの医療費の無料化を進めてはどうか。

町長

子どもの医療費助成制度は、基本的には国の制度として実施するべきものと考えているが、国の動向が不透明である。人口減少対策のための子育て支援策として拡充が急

務である。そのため、子育て家庭の利便性を考え、医療機関に受給証を提示する方式により、町独自に義務教育終了までの医療費の無料化を平成29年1月を目標として具体的な準備を進めていきたい。